

【斜里町におけるねふた運行の由来】

今から200年ほど前の1807年、北海道周辺に出没するロシア船に備え、幕府から斜里での警備を命じられた津軽藩士72名が、飢えと寒さにより死亡した津軽藩士殉難事件が起きました。

その後、幾多の時代の変遷を経て、この歴史的事実が知られるようになり、昭和47年に津軽藩士殉難慰霊碑が建立され、慰霊が続けられてきました。

このことが縁となり、弘前市と昭和58年2月12日に友好都市の盟約が交わされ、門外不出であった「弘前ねふた」が伝授されました。

当初、ねふた運行を独力で行うことは容易でなく、ねふた本来の製作から、絵描き、笛、太鼓、ジャガラキの技能を習得するために弘前の講師から指導を受け、一とおりの基礎が出来てからは、伝統を引き継ぐ形態をもって運行され、昭和58年から続く「しれとこ斜里ねふた」は、地域のまつりとして定着しました。

【しれとこ斜里ねふたの歩み】

年 表	しれとこ斜里ねふたの歩み	町の歩み
文化4年 (1807年)	・津軽藩士100名斜里警備のため派遣、翌春にかけて死亡者72名に及ぶ（津軽藩士殉難事件）。	
昭和29年 (1954年)	・東京の古書店で松前詰合日記が発見され殉難事件の全容が判明する。	・昭和天皇・皇后両陛下斜里町へ御巡幸。
昭和48年 (1973年)	・津軽藩士殉難慰霊碑建立。第1回慰霊祭が举行される。	・沖縄県竹富町と姉妹町盟約を結ぶ。 ・ウトロ香川台地に温泉湧出。
昭和58年 (1983年)	・弘前市から寄贈されたねふたを含め計3基より第1回ねふた運行がされる。	・弘前市と友好都市盟約を締結する。 ・一般廃棄物処理施設(破碎埋立方式)が完成。
昭和59年 (1984年)	・友好都市弘前ねふた斜里保存会発足、小泉昇氏が会長就任 ・第2回ねふた運行（保存会主催としては初運行） ・ぶんこうにし しんこうちょう ・文光西（現・新光町）、大谷幼稚園父母会、技能士会初運行	・以久料小学校新校舎落成 ・国立公園指定20周年 ・知床100平方メートル運動で環境保全功労団体として環境庁長官表彰を受ける。

昭和 60 年 (1985 年)	・ 第 3 回ねふた運行 ・ 建設業協会、斜里通運、ホクレン初運行	・ 知床 100 平方メートル運動が緑化推進運動功労として内閣総理大臣表彰受ける。
昭和 61 年 (1986 年)	・ 第 4 回ねふた運行 - おがっちゃねふた会、やーやどーする会初運行 ・ 弘前市へ斜里町民号派遣 92 名派遣	・ 越川小学校開校 70 周年 ・ 国保病院新築第 1 期工事完成 ・ 公営住宅団地再生事業始まる。 ・ 知床 100 平方メートル運動ハウス着工
昭和 62 年 (1987 年)	・ 第 5 回ねふた運行 ・ 斜里小野郎会、J R 初運行	・ 富士小学校閉校 ・ 公共下水道終末処理場供用開始 ・ 国保病院新築完成
昭和 63 年 (1988 年)	・ 第 6 回ねふた運行 ・ 以久科ねふた会、朝日小ねふた会、ウトロ自治会が初運行	・ 川上小学校開校 80 周年 ・ 朝日小学校校舎完成し、新設開校 ・ 斜里営林署 45 年の歴史にピリオドを打つ。新たに斜里営林事務所、知床森林センターが開庁された。 ・ 知床自然センターオープン
平成元年 (1989 年)	・ 第 7 回ねふた運行 ・ N T T 斜里ねふた初運行 ・ 弘前市へ斜里町民号 223 名派遣（弘前市市制 100 周年記念）	・ 斜里小学校校舎改築工事着手 ・ 障がい者支援施設 日の出学園開校 ・ ウトロ地区字名改正
平成 2 年 (1990 年)	・ 第 8 回ねふた運行 ・ ねふた一家初運行 ・ 弘前市民号 115 名が来町し、合同運行。	・ 斜里市街地町名地番改正 ・ 林野庁が知床国立公園内を森林生態系保護地域に指定される。
平成 3 年 (1991 年)	・ 第 9 回ねふた運行	・ ウトロペレケ新港一部開港
平成 4 年 (1992 年)	・ 第 10 回ねふた運行 ・ 八雲町で開催された北海道三大あんどんサミットへ 8 名出席。	・ 台風 17 号による大雨で市街地が浸水

平成 5 年 (1993 年)	・斜里ライオンズクラブより大太鼓 (8 尺 5 寸) の寄贈を受ける。 ・第 11 回ねふた運行 ・弘前市民号 400 名来町、8m 大ねふたを運行 (友好都市盟約 10 周年記念) ・弘前市へ斜里町民号 200 名派遣	・青森県弘前市との友好都市盟約 10 周年 ・沖縄県竹富町との姉妹町盟約 20 周年 ・姉妹町友好都市交流記念館開館
平成 6 年 (1994 年)	・第 12 回ねふた運行 ・ほくでん電気連合ねふた、林屋ねふた初運行 ・沼田町で開催された北海道三大あんどんサミットにお囃子隊を派遣。	・町鳥・町木制定 ・知床国立公園指定 30 周年記念式典開催 ・全町的なリサイクル事業がスタート。 ・北海道東方沖地震により液状化現象が発生する。農業施設、下水道に大きな被害を及ぶ。
平成 7 年 (1995 年)	・第 13 回ねふた運行、弘前市より 12 名が運行参加 ・しれとこねふた連初運行 ・弘前市消防団より「まとい振り」が披露	・知床 100 平方メートル運動が(財) 石川記念財団の山本有三記念「郷土文化賞」を受賞
平成 8 年 (1996 年)	・第 14 回ねふた運行 じょっぱり会ねふた初運行	・第 5 回環境自治体会議が斜里 (ウトロ) で開催
平成 9 年 (1997 年)	・第 15 回ねふた運行 ・斜里消防団初運行 ・この年より運行日を 7 月第 4 週の金・土・日に変更。 ・北海道三大あんどんサミット斜里開催	・しれとこ 100 平方メートル運動が到達目標額を達成する。100 平方メートル運動の森トラストを開始する。
平成 10 年 (1998 年)	・第 16 回ねふた運行 ・弘前市民号 200 名来町、合同運行 ・弘前市へ斜里町民号 51 名派遣、合同運行	・斜里町 120 年・町制 60 年 ・斜里町公民館 ゆめホール知床が 10 月 10 日 10 時 10 分 10 秒にオープン ・JR 釧網本線 斜里駅 から 知床斜里駅 に駅名改称
平成 11 年 (1999 年)	・第 17 回ねふた運行 ・出陣式において、弘前市消防団による「まとい振り」が披露。	・知床国立公園カムイワッカ地区で自動車通行規制始まる。 ・総合保健福祉センター ぼると 21 オープン

平成 12 年 (2000 年)	・ 第 18 回ねふた運行 ・ 日の出学園・ボ連協及び郵便局が初運行 ・ 町内市街地で第 1 回ねふたお囃子フェスティバル開催 ・ 地域伝統芸能フェステバル・日本のまつり（旭川市開催）に参加。	・ 知床横断道路開通 20 周年記念パノラマウォークを羅臼町と共催で開催。 ・ 容器包装リサイクル法に伴う新しいリサイクル事業がスタート。 ・ 朱田小学校開校 100 周年
平成 13 年 (2001 年)	・ 小山内清次氏がねふた保存会長に就任 ・ 第 19 回ねふた運行 ・ 出陣式において、弘前市消防団によるまとい振り及びラッパ隊による演奏を披露。	・ 来運小学校閉校 ・ 知床五湖駐車場有料化 ・ 斜里高校弓道部インターハイ全国 6 位 ・ 双葉保育園新園舎完成
平成 14 年 (2002 年)	・ 八雲山車行列 20 周年記念「北海道あんどんサミット」に参加。 ・ 第 20 回ねふた運行 ・ 斜里第一漁業協同組合ねふた初運行 ・ 札幌ドームで開催された「もっと北海道フェア」にて、北海道 3 大行灯祭が共演しドームの中を練り歩いた。斜里からは 83 名が参加した。	・ 武田豊樹選手 米国ソルトレークシティー冬季五輪 スピードスケート 500m で 8 位入賞。 ・ ウトロ小中学校新校舎完成 ・ みどり工房しゃり開園 ・ 100 平方メートル運動 25 周年記念第 20 回ナショナルトラスト全国大会開催 ・ ウトロ地区下水道供用開始
平成 15 年 (2003 年)	・ 第 21 回ねふた運行 ・ 弘前市民号 200 名来町、合同運行（友好都市盟約 20 周年記念） ・ 弘前市へ斜里町民号 88 名派遣、合同運行	・ 越川小学校閉校 ・ 青森県弘前市との友好都市盟約 20 周年記念 ・ 沖縄県竹富町との姉妹町盟約 30 周年
平成 16 年 (2004 年)	・ 第 22 回ねふた運行 ・ 平成 16 年から 2 日間運行へ変更される。	・ 知床がユネスコ世界自然遺産に推薦される。 ・ 斜里高等学校が総合学科に学科転換 ・ 斜里町史第 3 巻発刊
平成 17 年 (2005 年)	・ 第 23 回ねふた運行において、弘前市消防団・斜里消防団が本体運行に先駆けて沿道にて「まとい振り」を披露	・ 知床がユネスコ世界自然遺産に登録される（国内 3 番目）。

平成 18 年 (2006 年)	・第 24 回ねふた運行 ・N T T 北見初運行 ・沼田町で開催された北海道三大あんどん祭り 30 周年記念事業に 85 名参加 ・札幌ドームで開催された「日本のまつり 2006」に 131 名参加	・合併により新しい「弘前市」が誕生したことから、友好都市を再盟約する。 ・ごみ処理の有料化スタート
平成 19 年 (2007 年)	・第 25 回ねふた運行 ・四季の会初運行 ・市街地整備に係る工事のため運行コースを変更	・道の駅うとろ・シリエトク（北海道登録 99 番目）、道の駅しゃり（北海道登録 100 番目）がオープン ・JR 知床斜里駅リニューアル（駅舎改修、観光センター新築） ・新「やすらぎの苑」落成
平成 20 年 (2008 年)	・第 26 回ねふた運行 ・NHK 番組「おはよう北海道」内のコーナー「ぶらりみてある記」で特集される。	・斜里町 130 年・町制 70 年、泡盛「来運の泉」製造・販売 ・以久科小学校開校 100 周年 ・降ひょう被害発生（6 月 11 日）
平成 21 年 (2009 年)	・第 27 回ねふた運行 ・保存会絵部会が公民館講座「ゆめクラブ」へ参加し、ねふた絵制作指導	・知床しゃりブランド制度開始 ・道の駅うとろ・シリエトク利用者 100 万人突破
平成 22 年 (2010 年)	・第 28 回ねふた運行	・まちづくり基本条例（仮称）をつくる会発足 ・三井小学校閉校
平成 23 年 (2011 年)	・ねふた保存会長に三浦詔男氏、小山内清次氏が名誉会長に就任 ・第 29 回ねふた運行 ・ウトロねふた組初運行 ・NHK 番組「クイズで G O ! ローカル線の旅」に出演 ・日ハム球団主催による「北海道のまつり」に道内 3 大行灯が参加し、祭りの P R をした。	・斜里高校創立 70 周年 ・大栄小学校閉校

平成 24 年 (2012 年)	・ 第 30 回ねふた運行	・ エコクリーンセンターみらいあーる完成 ・ 斜里小学校開校 120 周年
平成 25 年 (2013 年)	・ 弘前市・斜里町友好記念碑除幕式に保存会役員出席。 ・ 第 31 回ねふた運行において、弘前市民号 80 名来町し、合同運行（友好都市盟約 30 周年記念）。 ・ 三浦吞龍氏によるねふた絵講習会を実施。	・ 青森県弘前市との友好都市盟約 30 周年記念 ・ 沖縄県竹富町との姉妹町盟約 40 周年、泡盛「来運の泉」製造・販売 ・ ゆめホール知床開館 15 周年を記念して、斜里町手作りシアター実行委員会による町民劇「絆の祭り」を公演
平成 26 年 (2014 年)	・ 第 32 回ねふた運行 ・ 三浦吞龍氏によるねふた絵講習会を実施 ・ ねふた絵講習会作品展を開催。	・ 峰浜小学校閉校、103 年の歴史に幕 - 知床国立公園 50 周年記念シンポジウム開催
平成 27 年 (2015 年)	・ 第 33 回ねふた運行 ・ 三浦吞龍氏によるねふた絵講習会を実施。	・ 知床が世界自然遺産登録 10 周年記念行事を開催。
平成 28 年 (2016 年)	・ 第 34 回ねふた運行	・ 知床自然センターがリニューアルオープン
平成 29 年 (2017 年)	・ 第 35 回ねふた運行	・ 100 平方メートル運動 40 周年記念行事を開催。
平成 30 年 (2018 年)	・ 第 36 回ねふた運行において、弘前市民号 80 名来町し、合同運行（友好都市盟約 35 周年記念）。 ・ 札幌市地下歩行空間にて、「しれとこ斜里フェスタ in チカホ」を開催し、しれとこ斜里ねふたの P R を実施した。	・ 斜里町 140 年・町制 80 年、記念行事を開催。